

生物の共通性

生物は共通の特徴をもっています。

① 細胞 ... 生物のからだは細胞からできている。

ゾウリムシなど

(単細胞)生物 ... 体が1つの細胞でできている。

ヒトなど

(多細胞)生物 ... 同じ形と機能の細胞が集合して組織となり、組織が集合して器官となる。

どの細胞も、細胞の基本的な構造は共通している。

(ウイルスは細胞をもたないため、生物とみなされていません。)

② エネルギーと代謝 ... 生体内ではエネルギーを出し入れする。

生体内では、化学変化による物質の変換が絶えず行われている。
この生体内での化学変化を(代謝)という。

生物が生きていくための様々な活動には、エネルギーが必要である。細胞内でエネルギーの受け渡しの役割を担っている分子を(ATP)といい、すべての生物に共通して存在している。

↓
(アデノシン三リン酸)